

評価会議（平成 28 年度期末）における委員の評価及び意見

1 取組実績の評価（１）：事業の実施状況

評価点 (配点 25 点)	A 委員	B 委員	C 委員
	22	22	20

主な意見等

- ・地域の段階、体制に応じた支援が行われている。（A 委員）
- ・地域に応じて支援の仕方を変えたり、支援員の担当入れ替えなど、民間のノウハウを活かして上手に自立支援ができている。（B 委員）
- ・地域の特徴を踏まえた支援に取りくまれている。（C 委員）

2 取組実績の評価（２）：事業の実施体制等

評価点 (配点 15 点)	A 委員	B 委員	C 委員
	13	10	13

主な意見等

- ・支援員の体制、アドバイザー、区役所との協働が適宜行われている。（A 委員）
- ・属人的な支援ではなく、体系的な自立支援を心がけているのは評価できる。（B 委員）

3 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）に関する評価

評価点 (配点 20 点)	A 委員	B 委員	C 委員
	17	15	15

主な意見等

- ・新しい層をふやすために、50 歳以下や乳幼児連れなど、ターゲットを絞った働きかけは評価できる。（B 委員）

4 取組効果の評価：目標等の達成状況

評価点 (配点 40 点)	A 委員	B 委員	C 委員
	30	32	35

主な意見等

- ・マンションに対する取組みついて、防災などを切り口に先駆例をつくることを期待する。（B 委員）
- ・地域での会議に全員が発言できるような進行の誘導など、効果が徐々に見えてきたのでは。（B 委員）
- ・地域特性に応じた支援が一定できている。（C 委員）

5 総合評価

(1) 総合評価 I

項目	A 委員	B 委員	C 委員
(1) 地域課題等の把握・分析・整理	B	B	A
(2) 目標（支援策）の明確化とそこに向けた戦略・シナリオの策定	A	A	B
(3) 区のマネジメントに合った取組	B	B	A

主な意見等

- ・成熟度が低い地域に対しても「井戸端会議」などの工夫で、変化を実現してもらいたい。
(B委員)
- ・町会だけではできない面もある、と見せていくことが大事 (B委員)
- ・ステージ1・2とも目標を達成していない地域があるが、アンケートの評価は総じて高く、地域差が出るのも仕方ない側面もある。(B委員)

(2) 総合評価Ⅱ

項目	A委員	B委員	C委員
総合評価 (全体)	A	A	A

主な意見等

- ・地域の課題の特徴や成熟度に応じた効果的な支援が行えている。(A委員)
- ・「なにわ区ラボ」はタイムリーな企画で、参加者は良い刺激を受けたと思うが、不参加の人へのフォローを考えていただきたい。(B委員)
- ・人口流動的で外国籍住民が多いなど、難しい地域特性に対し、よく動いている。(C委員)

(評価基準)

- S：本市の求める水準を大幅に上回る効果が得られた
 A：本市の求める水準以上の効果が得られた
 B：おおむね本市の求める水準どおりの効果が得られた
 C：本市の求める水準の効果が得られていない